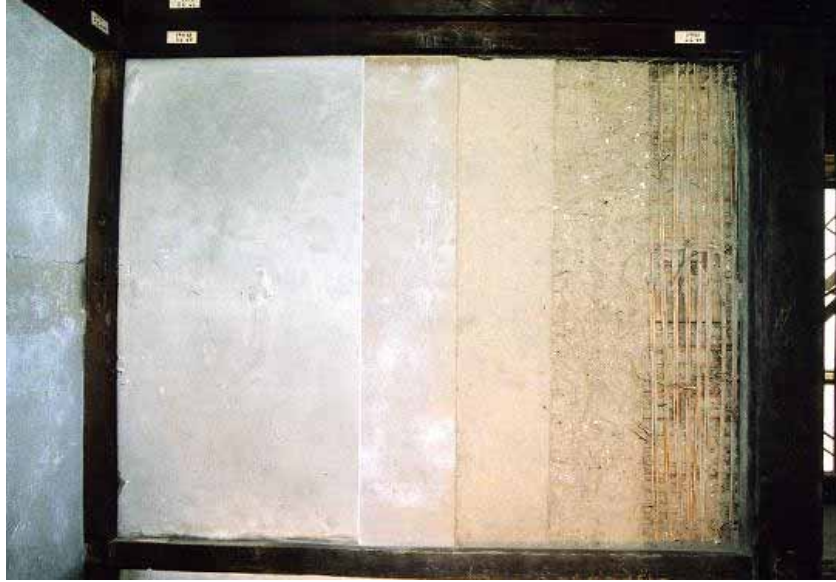


平成 17 年 4 月 ~ 平成 17 年 6 月

平成 17 年 4 月



2 階北面西端間の壁塗工程が分るよう、少しずつ剥がしてみました。
右より小舞・荒壁・斑直し・中塗・漆喰上塗
の 5 工程に分かれていました。

平成 17 年 5 月



筋置き葺土を取外した土居葺きの状態です。
文化 9 (1812) 年の葺替です。
西から東に向かって見えています。

平成 17 年 5 月



大棟西側鬼北面の記銘です。
「三州藤井 藤原氏十人 文化九申(1812年) 八月吉日」と読めます。

平成 17 年 5 月



瓦を下ろしたところ、平瓦の刻書を発見しました。
「文化九(1812)年申八月出来 御馬寄村 瓦屋 喜惣次」
「ぶんかきゅうねん さるはちがつでき
みまよせむら かわらや きそうじ」と読めます。
御馬寄村は、当時は小諸藩の一部で、現佐久市となります。

平成 17 年 6 月



小舞搔き取外し後の 2 階西面です。